

「フェイクを見極める」

開催地：佐賀

グループ： 2班

2021.10.23

フェイク情報と付き合い合っていくために、、、

私たちの思うフェイクの3分野

- ・ アプリケーション（アプリ）
- ・ メール
- ・ コロナ（COVID-19）

アプリケーション（アプリ）事例

- ・ オンラインショッピングで写真と全く別のものが送られてきた。
- ・ 本当は仲いい芸能人が不仲説というデマの投稿
- ・ フリマアプリの出品商品の商品詳細にわかりづらい説明文を記載し詐欺にあう

メール 事例

- ・ チェーンメールによって、他の友達にメールを送るように誘導された
- ・ スпамメールによって、「100万円が当たりました！」というメールを送られてきた。
- ・ 検索中に別のサイトに移動し、偽の当選に遭遇

コロナ（COVID-19）事例

- ・ ワクチン接種を3回接種しなければいけない
- ・ ワクチンは体に悪影響だ
- ・ コロナによって一時的に日本の販売店でトイレトペーパーを求めて客が殺到

事例に対する対策

アプリケーション（アプリ）

- ・ 評価やコメントを見る
- ・ 静止画と動画の加工に気を付ける

疑う

事例に対する対策

メール

- ・ URL をむやみに押さない
- ・ 怪しいと思ったらブロックする

事例に対する対策

コロナ（COVID-19）

- ・ 3回打った人の意見を聞く
- ・ 個人のサイトより医療機関のサイトを見るようにする。

全体共通して言えることは、、、

多くの意見を取り入れる

すぐに信じない

なぜ、ネットが必要なのか？

- ・ 過去の情報を知ることができる。
- ・ テレビで知れないことをネットで知ることができる。
- ・ 必要な時に必要な情報を知ることができる。
- ・ 海外のニュースを知ることができる。
- ・ 自己主張ができる。

私たちが伝えたいこと

- ・ 情報社会が発達するにつれてフェイク情報が多くなることが今後考えられるが、それを見極めるためにも幅広い世代で情報リテラシーを身に付けていく必要がある。